THE LADIES' JOURNAL OF EDUCATION.

遞信省認可

明治二十年六月五日

定價金四錢

女學雜誌

第六十二號

毎月三回發行

績文舍

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

目錄

〔女學叢誌〕婦人の勢力●〔中外新報〕十數件●〔列女傳〕露の下とれ●〔論説〕女子の体育（前號の續き）○女子の敎育を改良する一法●〔新作物語〕閨の徹夜燈（南翠外史）●〔家政要報〕水を混じたる牛乳を見分くる法○鐵器と淸水○魚の腐敗を防ぐ法●〔御伽草〕數學問題○考へ物○前々號の數學問題及び考へ物の荅●〔寄書〕春臺先生の獨語●〔英語獨修〕ニユーナシヨナルリーダー直譯

女學叢誌

○婦人の勢力

偉なる哉婦人の勢力、大なる哉婦人の勢力、筋骨强勁して棒を史家村の月に振り腕力强くして虎を景陽岡の風に撲つ勇氣勃々たる干城の武夫も嫋々たる細腕、裊々たる柳腰の婦人に對すれハ忽ちその勇氣を失す或る生理學者の說に據れハ婦人にハ男子を吸引する一種固有の香氣ありて男子の此香氣に觸るゝときハ精神恍惚睡れるが如く醉へるが如くなるに至ると云へり余輩ハ果して婦人に斯る香氣あるや否を識らざれとも左れど兎に角裊々たるかよわき婦人よしてその力善く勇氣勃々たる干城武夫の心を制することの强大なるに至てハ余輩の固く信じて敢て疑ハざる所なり

亞米利加合衆國のとなりしと覺ゆ或る國會議員ハ婦女子に被撰擧權を與へ候補者たらしむるの利益を數へ擧けたるうちにも若し婦人に與ふるに被撰擧權を以てし候補者たらしめ國會議院に出席せしむるに至らバ各議員も自から言語に注意し擧動と愼み妄りに他人の發議に向て詈罵譏謗を逞ふするの弊と除き議場整肅議事亦た捗取り徒らに貴重の光陰を空過するが如きことなきに至るべしと云へり婦人の勢力も亦た大なりと謂ふべし

勇氣鬱勃たる干城の武夫をして或ハ泣かしめ或ハ笑ハしめ或ハ哀しましめ或は樂ましめ宛も人形つかひの其人形をして種々の態度を爲さしむるが如きの勢力ある者ハ裊々たる婦人なり或ハ國家をして文弱に流れしめ或ハ壯武の氣風を振ひ起さしむるも亦た嫋々たる婦人の勢力に因るもの多し又風俗を改良し品行を矯正するも亦た孱々たる婦人の力に在り夫れ既に婦人ハ此の如き强大なる勢力を稟有するからにハ之を用ひて風俗と改良し品行を矯正し國民をして壯武の氣象を振ひ起さしめ以て國家をして殷富强盛ならしめざる可らざるの責任を負ものなり此一點より觀察すれば男子ハ唯だ器械にして婦人ハ之と使ふの機關師なりと謂ふも可なり器械の善く出來居るに善く其働きを爲さゞるハ機關師の善く之を使ハざるがゆゑ

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

なり善ど之を利用しなば權利も伸ばすべく自由も得べく幸ひの紫雲、歡びの紅霞ハ靉靆として其周圍を繞り春鳥の啾々皆々として綠樹濃枝の香花に歌ひ金羽双蝶の翩々として花瓣に戯むるゝの快樂も得て取るべきなり

嗚呼羨む可し歐米諸國の婦人ハをぞくも此天稟の力を利用し善く男子をして悅べきに悅ばしめ悲しむべきに悲しましめ働らくべきに働かしめ游ぶべきに游ばしむ宜べなり男子の之を優待尊重して坐するときハ之れに上坐を與へ步むときハ之を扶け唯其意に忤れんことと是れ惧れ爲めに計て親切ならざらんことを是れ憂ふ夫れ歐米諸國の婦人の幸福の大なること此の如くなるに至りしも婦人自から之と請求したるに非らず然るも尙は此の如き男子の優待尊重を受け此の如き幸福快樂に浴することを得るに至る所以のものハ蓋し婦人善く其天稟の勢力を利用し男子をして此優待と此尊重とを以て婦人に捧げしむるに至りしに外かならず

近時我が國の婦人社會に於ても漸く此天稟の強大限りなき勢力と利用して其幸福と快樂とと增進せんとするに至りしハ實に祝すべきの至りなり況してや余輩の如く我國の婦人社會として郁々たる彼の美域に進ましめんと日夜孜々汲々として片時も止まざる者の如きハ更に辛勞の空しからざるを喜ばさると得ず左ればば余輩ハ我國の婦人ハ今日歐米諸國の婦人等が此の如く男子の優待尊重を受くる所以のものと探究せずして唯た其幸福と快樂との大なると見て欽羨措く能ハず一躍して之を得んと欲するの情あるを恐るゝなり善く培つて而して後ち始めて强勁なる幹よ香ばしき美花の開くを觀且つ甘き菓實を收むることを得るなれ未だ始めより培かはずして其菓實を得んと望むも恐らくハ得難かるべし其心に培かひ其思想を耕やし以て斯の偉大なる天稟の勢力を利用せずば我國の婦人ハ善く風俗と改良し品行と矯正する力を有し又その責任を負ひながら啻に之を改良し之を矯正する能ハざるのみならず之を紊り之を傷ひ遂に國民をして柔弱淫靡の域に陥らしむるの結果あらんとす我國の婦人にして此の如くなるときハ啻に男子の心を制する能ハざるのみならず愈々男子の猛威の下に慴伏して永く不告の悲域に呻吟するの外なかるべし婦人の勢力漸く芳嫩と發せんとするの今日に當り更に益ゝ精と出し氣を勵み其培養を勉めざるべからず努めよや力めよや我國の婦人等よ卿等の幸福快樂ハ目前に在り歐米諸國の婦人等が受くる所の優待尊重ハ彼れ等躬自から之を請求したるにあらず唯だ其

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

心に培ひ其思想と耕やし以て此偉大なる天稟の勢力と利用したるに因るのみ

◎中外新報

○御誕辰　去二十八日ハ　皇后宮の御誕辰に當らせらるゝを以て諸親王各大臣幷に宮内省諸官吏方ハ何れも大禮服着用にて午前十一時より祝賀の爲め參内し宮内省　官吏へハ酒肴を賜はりたる由

○私立高等女學校　過般來伊藤伯其他朝野の紳士達の發起にて私立高等女學校設立の計畫ある由ハ豫て聞及び處なるが右の協議も追々捗取て既よその教科等も決定り資本金額ハ十萬圓とし内五萬圓ハ文部省より支出し跡五萬圓ハ民間の有志者より募集せらるゝ筈にて差向英國より女教師二名を雇入るゝ約束を爲したるよし

○篤志看護婦會設立の企　有栖川、白川、北白川宮等の御息所と始め三條、毛利、蜂須賀、山縣、大山、戸田、佐々木等諸夫人の發起にて今度日本赤十字社篤志看護婦會なるものと設立せんとて目下計畫中の由なるが今その規則の大要を聞くに第一慈惠の誠意を以て戰時に軍人の患者を看護せんが爲めに加盟する婦人は篤志看護婦となす事、第二篤志看護に採用す可き者ハ年齢族籍等に拘はらずと雖ども平素品行貞淑なる者に限る事、第三加盟の上ハ看護法救急法等の如き看護に必要なる學術を教授する事、第四學術の教授ハ凡毎週一回とし三ヶ月にて卒業せしむる事、第五衣服は各自の自由に任そるも成る可く丈け質素を旨とそる事等にて石黒軍醫監などが専ら周旋せらるゝ由にて賛成加盟者も意外に多く醫科大學の教師ベルッ氏も大に此擧を賛し自ら看護に必要なる學科と教授そるの勞を取らんと云ひ居らるゝ由

○小學校試驗　府下小學校大試驗期日ハ東京府令第三十號と以て示されし如く同府廳學務課の報告を待て之を定むべき筈なれども私立小學校に於ては從前の通り其小學校に於て期日幷に日數を取極て屆出べく又公立小學校にては來る六月十日迄に其日數丈屆出べく且小學校大試驗ハ學年末よ執行すべきハ當然なれども都合によりろの以前に於て施行したる向ハ豫め其事情と具し認可を經れば差支なき旨此程府廳より各郡區役所へ達せられたるよしに聞く

○踏舞會への下賜　東京踏舞會の會員ハ目下百二十餘名ありて會費ハ一名に付月一圓づゝを徴收せらるゝ由なりしが右

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

にても猶其費用に不足を生ずるに付自今其筋より同會へ月々百圓づゝ下賜せらるゝ事になりたる由

○パリー伯の夫人　西洋婦人はなべて優に優さしけれど亦活潑にして日本婦人のごとく因循柔弱なる者は甚だ少なし先般發布の皇族放逐令に據て佛國を追放せられたるパリー伯の夫人は此ほど英國に赴き暫らく貴族某氏の別莊に滯留せられしが日々小銃を提て遊獵を事とし暫時の滯留中に山雞卅五羽を獲れたれば人々其射留めたる手並に感服したりと

○大學女學生　ニユー、サウス、ウエールスと云へるは太濠洲の東部に於ける新開の殖民地なるが敎育の進歩は中々著じきものと見え昨年十月同地の大學校にて秋期試驗を行ひしに受驗者一千百六十二名の中三百卅六名は女子なりしと云

○婦人の發兌する新聞雜誌　婦人にて文學、小說、及び流行等に關する新聞雜誌を發兌する者は間まあれど政治法律等に關する新聞雜誌を發兌する者あるを聞かざりしが米國チカゴ府のツイト夫人はチカゴ、ロー、タイムスと云へる法律雜誌を一年に四回づゝ發兌する由今其初號を見るに紙數も餘ほど多く記事論說も立派なるがツイト夫人は法律學に餘程熟達したる人なりとぞ

○女子洋服裁縫練習會　今度日本橋區蠣売町二丁目十五番地に設けたる同會の槪則を聞くに入會女子は毎月會費五十錢を預け一ヶ年にて卒業すべく卒業后一ヶ年は本會に從事して相當の給料を受くべし又本會にて使用する事なきときは月々預りたる會費を返附する約束なりとぞ

○校長諮問會　文部省會議所に於て開會中なりし東京及各縣尋常師範學校長の諮問會は去卅日迄にて結了したる由

○養育院慈善會　養育院慈善會の事は前號にも記載せしが入場人數は總計一萬七千〇〇二人にして同會より養育院へ不日寄贈すべき金額は五千圓なりと聞けり

○御補助　聖上　皇后宮より日本赤十字社へ御補助として自今年々金五千圓下賜わらせらるゝ旨此程達せられたりと承まはる

○兒童の喫烟　近來兒童の喫烟する者多く甚しきに至ては講堂に昇りても喫烟するものありて就業時間と障ぐるのみならず發育に害を與ふるより此頃其筋にては小學子弟の喫烟を禁ぜんとて協議中なり人の父母たる者は心得置くべし

○敎育博物館講話會　同會は去廿六日迄にて全く終と告げ當日田中舘愛橘氏は物理學機械製造心得と云題にて先づ物理

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

學は物の現像を講究する學問にして其學を分て定性定量の二となし而して後者ハ未だ不充分にして前者ハ明白なりその然る所以ハ定量と云ふ事ハ物の比較と云ふ意なるに物の現像ハ千種萬態寔に無限の者なれば其比較すべき者も亦無限なるにも拘ハらずその比較を定むべき者少し要するに物を比較するには三箇の性質を具ざる可らず即第一長さ第二目方第三時なり而して此内長にハ直接の比較と間接の比較との二ある事なるが今度共進會に出でし秤は多く間接の比較に依り製造したるものと見え其製造法を誤れりとて次に物の動法ハ公動私動の二つあり而して公私共に左右前後上下の三動を爲し都合六つの動方ある事なれば此理を明にして譬へば左右前後の動を止めんと欲せば左右前後と止むること必要なり然るに此理を知らずして無用の手數を爲せる者多し次に日本ハ物を摸倣するに巧にして又手細工を以て有名の國なれバ眼鏡の如き手よて作る者にハ定めて精巧緻密なるもの〻出づべき筈なるに兎角完全の出品なきハ全く光線屈曲の學理と知らず殊よ此カラスは幾許の光を放ち幾許の屈曲と有つ等 係めるの性質を知ざるより起る事なれば何卒今少し學理を應用したき旨を述られり次に今田東氏ハ人躰各部割合と云ふ題にて本題に入る前日本工業の全躰を評して曰く日本にて今日職人が學問もなく唯手と足を持カチく細工によりて製造する手際にしこれ今日が頂上飛切の手際なりその證據にハ今度の共進會と以前の共進會とハ進歩の有樣に格別の差なきを見て知るべし就てハ是非とも大仕掛に合同組合の方法を立つる工夫を爲れ肝要なるべしとて夫より本題よ入り一個の摸造人躰を前に据ゑ人間の骨格は寔に微妙なる構造に出來しものよて頭足肩腰一として緻密なる比例あらざるなく譬へバ人の躰ハ腰より頬迄と腰より足本まで比例をなす如く皆整然として秩序のあるものなれば苟も彫刻繪畫に從事する者ハ深く此理を辨せざる可らずとて其外の部分に就ても細に説明せり最終に於て渡邊洪基氏ハ工藝進歩の爲先繪畫術勸奬せざる可らず繪畫を高尚ならしむるにハ文學旺盛ならざる可らざる私考と云ふ題よて演述して曰く今回の出品ハ全躰に於て其製造品に意匠の乏しき者多し而して彼の繪畫と云ふ者ハ美術にして工業品と違ひ重にその意匠を主にして精巧緻密ハ先づ客なるに其大事なる意匠の繪畫一般に乏しきハ歎はしき事なり而して斯く工業品に意匠の乏きハ繪畫の術拙劣なるに歸するものにて凡て美術音樂詩文の如きハ能く調和し居ものなり而して此調和な

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

るものハ獨り美術に必要なるのみならず工業にも必要の事なり然るに調和の源泉ハ音樂詩文等文學にあれば勢ひ文學を盛にすること良策ならん古來各國の有樣を觀るに伊太利、瑞西、佛蘭西、波斯西の如き文學の盛なる處ハ皆技術上非常の進歩ありしを見ても知るべきなり云々と述べ是にて全く同會を閉られたり

◎唱歌講習所　東京府學務課において今度唱歌講習所を設け講習生八十名を募集せしが去る一日より授業を始められたるよし

◎華族女學校　四谷尾張町の華族女學校の生徒鳥尾中將の令孃ハ何か感ずる所ありて先頃退校せられしが其後退校を申出る者もある由如何なる事情のある事にや

◎校則改正　横濱山手居留地なる横濱英和女學校にてハ今度校則を改正し別に特別科とも設け日本婦人に必要なる學科を懇切に教授せらるゝよし

◎分校設置　駿河臺鈴木町の成立學舍にてハ先頃同所袋町へ女子部を設けられしに入學する者はなはだ多く殆ど滿員せし程なるが今度また四谷東信濃町十番地へその分校を設けられたり

◎列女傳

○露の下とれ（中）　竹廼屋壽々女　記

富山縣下越中の國射水郡某村に松野と呼ぶ者あり幼少くして父と失ひ母のお節が手一ッに其身のみかハ妹娘のお國とゝもに育てられ成長したるが兄妹とも孝心深きハいふも更なり母の傳へに亡父の遺言を厚く守り互ゝに勵み勵まされ中睦まじく讀書の學びに只管勉强せしより兄の環ハ十九の歳某藩に設立せし學校の教師に擧げられお國ハ傍ら裁縫の事にも母の丹精にて年に似合ず上達せしかバ是亦同校裁縫の助教に用ひられしにぞ是まで長く母親が女世帶に心細く暮してゐたる憂き事も今ハ二人が世に出て僅かながらも手に入る給料等に生計さへ樂になりしに忘れ果て只折々の茶のみバなしに言出るまでとなりしが兄の環ハ此上とも出世を望む者なれバ尙勉强が大切なれどお國ハ婦人の事なれば生計の都合を計るのみにてハや年齡に至りしをも顧みずに學校へ出して置くハ心掛り且つハ讀書裁縫の業にハ人に劣らぬとも世間普通の婦人の身でハ先づ第一に心得て居らねばならぬ勝手元の立働きや料理の仕方客扱ひの一通り夫等を兄の勉强相手勵みの爲にと是ま

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

でハ只稽古事一方に骨を折らせて聊かも仕込で置かねバいつの日に相應しき縁談のありとも差向き事を欠くハ此身に覺えもある事ゆゑ良からぬ噂の立ぬうち手許に置きて追々に家事のことをバ習はせんとさすが婦人の心から先の事をば案じつゝ兎に角兄に相談せんと都合のよき日を待つうちに環ハ日來勉強の効し顯はれある時の試驗に第一の高點を得且つ行狀の正しきより同校の校長に擧げられしが母親ハ好き機會と環に向ひ妹の事を語り出しに環ハ如何さま其邊にハ心付ずに過せしが是が人をば召仕ふ家へ嫁くに極めて居る譯にてあらば割烹の事なぞさまで入用とも思はざれどもなか〳〵に現今の世にてハ一人遣ふ家ハ稀れなれバ嫁に行つて肝腎の勝手元を不案内でハ人にも笑はれ第一に家の爲にも不經濟よし又人をバ召仕ふ立派な家へ貰はれても其身に心得あるときハ無理なる用もいひ附ぬ道理であれバ母上のお見込に任さんと頓に承知をなしたりしかバ母ハ喜び早速にお國にも其由をいひ聞かせて得心させ頓て辭職を爲さしめて手許に置きつ朝夕に家事の賄ひ何くれと語を添へて扱はせしにお國も母の敎へを守り常に節儉を專らとし且つ骨惜みの事とせずかひ〳〵しく働くより習ふよりも馴れろのたとへいつか母にも立勝りよく經濟の道を覺えて今ハ人の妻となり一家の事を預かるも差支なきまでに進歩せしかバ母親ハ兄も妻をば迎へん年齡早く妹の身を定め夫より嫁を尋ねんとて再び夫等の噺をせしに環ハ目的のある事にや妹に辭職を勸めたるその折とハ反對し今しも世間何となく物騷がしき折なれバ如何なる變革のあらふも知れず其中へ足手纏ひの婦人をわざ〳〵迎へるハ空しく心遣ひをば增すのみなれば二三年ハ此まゝお國を家へ置き母上のお世話とさせて他のやりとりハ見合せて尤お國ハ今年が十七なればバ今二三年送るとも盛りの過るといふ歲になるべしとも思はれずのた〳〵今度の御相談ハお見合せ下されといつも母の語をば背きし事なき環なれど此日に限りキッパリと斷りて受附ぬに母ハ勿論お國さへ不審ハ更に晴れねども强て言はんもさそがゆゑ其まゝ嫁の相談ハ暫らく見合せゐたりし處環の擧動ハますます變じ母にも只の一言も相談せずに辭職をなし夫のみならず數多の人と俄に交際を始めし上突然大阪へ出發せしに間もなく藩政改革黨の連類ならんと疑ひのかゝり捕縛せられ同地なる藩邸に拘留され一年足たらずに日を經しも未だに數名の人々と共に閉込置るゝハ又是非もなき次第なり是なん前回に揭けたるお國が兄の身の上を想像つゝ泣きかこちし其事件の顚

Digitized by Google

Original from
CORNELL UNIVERSITY

末なるがお國ハ兄が家出の後案じる母の心をば種々慰めて其うちにハ無事にご歸國なさるゝならんと口にハいへど兄よりの噺しに大概聞き居たる次第の早くも重役に聞えし上ハ容易ハ免されまじと考へれば萬一不吉の音信でも届いたならば母さまの其お嘆きハ如何ならんと取越苦勞に夜の目さへ合ぬ妹の心配を察しる母ハ尚更に重なる苦心の身に障りてか重き枕に就きしかばお國の驚きいはん方なく兄の留守中萬一の事でもありてハ大變と醫者ハ更ありよしといふ藥を尋ねて一日も早く平癒をさせたしと神にも禱り佛にも願ひて只管看病に盡す心ハ届けども同じ樣子に日を經るまゝ餘計の入費に追はれつゝ藥の代や生計向き届かぬがち

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

みなりしより氣を揉むお國ハ如何にもして病臥す母に知らせじと繕ふ心の苦しさハ腸を斷つお思ひなりしがフト氣が付て調ぶれば診察料ハ暫く置き藥の代ハ是までに月々濟せてゐたりしも今ハ夫さへ手廻り兼二月餘り滯りしに醫師も樣子を察してか少しも惡い顔をせず何心切ょ廻つて呉るを思へハ捨てハ置かれぬ義理去りとて金に代ふべき品ハ既に追々賣盡して母の臥床にある物の外にハ是といふ程の品もなきと當惑したれど切止むべきにあらざれば折ふし寒けき頃なるも母の爲めにハ雪中に肌の温みで氷を碎き魚を得たりし例もあれば薄着位を厭ふべきやとお國ハ平常着てゐる處の上衣を合せて賣拂ひ辛ふじて二兩餘りの金子と整へ早速に醫師の許へ尋ね行き無沙汰又過せし辯解なして失禮なからと差出も藥の代をよくも見ずお國が昨日の形粧と替り此寒天に一枚の單衣に半纏と着たるバかりの躰たらく瞬きもせずつくくと眺めし醫師ハ日來から優しき仕末も兄の事又母親の長病又不如意の樣子も知つて居れば其心中を察しやり持參の禮ハ受取置き更に手函の中よりして取出したる金子をば紙に包みてお國に向ひ些少なれども此品ハ其方の孝心比ひなきに感じ入り此見舞物何ぞ母御の口に適ふ品を求めて進られよと辭むも聞かず無理やりにお國に持せて歸したるよりお國ハ慈善の金よりして不思議の災難と招くといふ其趣きハ書樣に出せど次回に於て說き盡さん

◎論説

○女子の躰育(前號の續き)　櫻井錠二君　演述

衣服の形ハ如何と申しますょ私の考にてハ無論西洋服が宜ひ其理由ハ私が申さずとも貴孃方ハ充分御承知でありませう即身躰の運に最も便利であります身躰の運に便利なれば散歩の爲めにも其運動の爲めよも都合宜し當學校に於ても追々西洋服の流行するハ私の最も悦ぶ所であります」衣服の序ょ申しますが西洋人の内ょハ多く我婦人の衣服の西洋風に變ると甚だ厭ふものがあります今其理由を聞きますに日本固有の婦人の服ハ眺めて實に綺麗なれば(Very pretty to look at)之れを西洋服に變へるハ實よ遺憾の事なりと云ふにあります成程一應尤もらしく思ハれますが元來我婦人ハたゞ人に看らるゝ丈のものでハありませぬ貴孃方ハ今より一方に於てハ活潑なる遊戲をなして身躰を強壯ならしめ又一方に於てハ廣く西洋の善良なる婦人と交際を厚くして種々の利益を得なければ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

なりませむ西洋人と交際をなし彼より充分の利益を得るにハ其言葉ハ勿論、習慣着物の着樣、食事の仕樣に至るまで學バねばいけません手短に云へバ西洋人に成つた氣で居なけれバいけません其位地に在る我婦人がいかでか見世物然たるヿを仕て居て濟ますものか貴孃方ハ右の如き説をお容れなさらぬ事ハ私ハ充分承知して居ますが心付ましたに由て申し置ます

(第二住家の事)是も私が申さず共矢張西洋風が宜ひに違ひありません先づ日本家の第一不都合なることハ坐らねバならぬ事であります坐ると云ふことハ習慣になつていますから左程難儀とも思ひませむが坐り付ないものが坐ろうとするハ難儀でありませう難儀なれハ即生長の害となるものでありませう私共ハ近頃餘り坐り付ませぬから坐らねばならぬ場合にハ寔に困却を極めます坐るハ生長の害となることハ事實に照らして疑ふべからざるヿと思ひます元來日本人ハ西洋人より身が低いと云ふのハ外の所ハ左程違ひませんが足の短きことハ實に著しくあります是れ全く日本人ハ小兒の頃より坐り付たるものなれば足の生長を碍げられたるに由るものと思ひます併し家を一時に西洋風にすると云ふことハ六ケ敷きことゆゑ先づ不斷椅子にかゝりて成丈坐らぬ樣に注意する事が緊要であらうと思ひます其外日本家にハ不都合なること種々あれども今日ハ申しませぬ　（未完）

○女子の教育を改良するの一法　清水直義君　演説

諸君私ハ箇樣なる場所に臨みまするのは今日が始めてゞ御坐ります私の問題は女子の教育を改良する一法と云ふのであります一法と云ふと誠に大きな問題で實は女子の教育を改良する問題と云ふ樣なもの〻日本の教育を改良すると申しても差支ありますまい箇樣な問題に對して乳の匂のする吻の黄いな私抔が申すことハ固より出來ない譯でありますが併し昔の人ハ何んな卑い者の申した事でも夫を以て自分の考への利益にされたと申します箇樣な譯で御坐りますから私ハ自分の歳の若く經驗の無きにも拘はらず今日述べるのであります偖女子の教育を改良する方法ハいくらもありましやう而して女子の教育を改良するに必要のことハ如何なる事かと云ふに此頃討議題に出て居ります男女共學と云ふことを打破りまして男女別々に敎へるのは女子の教育を改良するに第一の手段であらうと思ひます併しこれハ前會來討議もありまして私も意見を述べましたから今日ハ再び述べませぬ只男女は分けて學ぶと云ふ事は女子の教育に必要であると云ふことだけ申述べて置

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

きまそそれから其次に今日私が申述べ樣と思ふことを述ましやう併し私の述べまそ說ハ決して新しき說ハ出ませぬ又勝れた說も出ませぬ何れ古き說であるに違ひありませぬ又多少採る可き說でありましても諸君の御存じの說に違ひありませぬ只古めかしき譯けの分らぬ說を述べて諸君の御參考に爲れば誠に幸ひでありますそれから女子の教育が必要であるか必要でなきか夫れ等は今日此處で述べることは必要でありませぬから申しませぬ又日本の今の女子の教育の有樣は如何と云ふに私の見まする所では東京に於ても未だ女子の教育は充分に備はらぬが兎も角も改良に歩を向けて居ると思ひます田舍は之に異り女子の教育は全くなしと申しては酷なれど極々不完全であると云ふ評を下します夫れ土地の都鄙に依て觀察しましたことでありますが女子の地位に依ても一躰に中等以上の女子は都鄙を論せず色々の方法を設けて稍完全に近く樣であります併し左樣なものも都會の方にはありますが僻地に參りましては私は確に左樣なとは申し兼ますが僻地では左樣は行くまいと思ひます故に僻地の中以下の教育は勿論不完全でありますが其不完全なる所以は其者達が學ぶべき場所が無きゆゑ學べぬので學ぶべき手段方法が立て居れば之を發育するのは易きことであります併し只今申し上ました事柄に付て一つ困難の事柄がありますそれは何んであるかと云ふに只今存して居る父兄の思想であります其事は此事に障りを與へまするそれは後に申し上げます積りであります中以上の女子に付ては箇樣でありますが中以下の女子はまるで教育の方に足が向ひて居らぬと思ひますそれは僻地計りでなく都會の者も左樣である樣に考へます然して中等以下の女子に完全の教育とハ行きませぬでも完全に向ふ教育を受けさせ樣と致しまそには其困難ハ一二ではありませぬ澤山ありまそが色々の困難ハ方法手段を盡せばこれを除けることが出來ましやう併し如何しても除けることの出來ませぬのは其等の母が完全なる教育を受けさせることの出來ない障りハ即ち金錢上の事であります是が一の障りであります中等以下の輩の內に於ても隨分其娘を教育するは必要であると云ふことを知て居る親が多少無しとハ申されませぬ併しそれハ金錢のことに關りまして自分の不仕合を歎いて居るものも隨分あらうと思ひます

是から女子の教育を改良するには何したら宜しからうと云ふことを申し述べ樣と思ひます前にも中以上の女子のことを申しましたから今度も中等以下の者ハ如何なる手段と行たらば

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

完全に向はしむることが出來る乎と云ふ事と申しましやう私が今日愛に持て居ります方法は二つあります其一は如何なることであるかと申しますに前に後程申し述べ樣と申しました通り中等以上の者は充分に教育を受けることの出來ぬのは中には父兄の思想に依て受けられぬと云ふことを申しました夫れ故に中等以上の女子の教育を充分にしやうとするには父兄の思想を改良するが一つの方法であります父兄の思想は如何なるものかと云ふに昨今は減じましたらうが女は學問のいるものでないと云ふ思想を以て居るものが大層ありました餘所から鳥度見た所では日本は開化したと云はれますが内部に入て視れば女子の教育はいらぬと云ふ事が日本人の腹の中に隨分ある樣であります箇樣な原因がありまして女子の教育は天下の盛衰と云ふことに關係すると云ふ思想はありませぬゆゑよ箇樣な思想を變て女子にも學問がいるぞ女子の教育を受けると受けざるとは國に關係があるぞと云ふことに父兄の思想を變なければ爲りませぬ併しこれを變ることが必要と申して父兄教化學校と云ふごとき學校を建る譯にも行きますまい髭だらけの婆さん爺さんが教育學の講義を聞くことも出來ますまい

（未完）

◎新作物語

○閨の徹夜燈　第一篇　南翠外史 述

第三　孀婦の知己（つゞき）

右左より留めらるゝ言葉のいとゞ切なりければ件の浪人も今や心に思ひ絶えて病はふけたる我が子を棄て身もろともにと思ひけるを綾なくも取縋られて今將た放たんとする手を放ちもやらず留めたる人々の顏うち眺めて潸然として涙を浮べ憂きを重ぬる我が身にも猶また彌が上に憂き事を重ねよとや留め給ふ御心は忝けなけれど留めらるればとて朝の程の命のみ夕ざり來れば我が子を殺し我れも果なん命ぞかし憖ひに一日を他に歎かして菩堤と遮り止め給ふかと宣に怨めし氣なる眼ざしにて見上る顏を俯下せば辛苦にいとゞ窶れてこそ去つれ徃昔ゆかしき顏の品位由あり氣にぞ見えけるお嘉稔はのゝる人と見るにつけても見ぬ父上の若しも世に零落れて斯く淺ましき境界に落果給はんには如何切なくも悲しき事ならん情は人の爲ならじ任せる程は扱ひ取りて得さすべしと思ひければいなく今日一日の短かき命を繋しまゐらせんとて助けんとは言ひ侍らず縱令蜉蝣の朝をまたぬ阿兒が病着あればとて水

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

屑としたまふは餘りに事なき事ならずや凡そ生とし生るもの誰かは生を愛し死を畏れざるもの〻あるべき然るを畏るべき死に好んで就んとし給ふは能く〳〵思ひ定めさせ給へる事ありてにこそあらうずらめ力には及ばねども黄金にて事足りなば此處に十金を懐中にして侍り是れにて阿兒の疱瘡を癒し給へ今は貫濃の期節とは見つるなり今より十五日を過給ひなば疱瘡は孰れにか片付べきものとぞ聞きぬる妾は朝毎に此の八幡の神に詣づる者にしあれば金盡きなん時宮居にて待せ給へ心の及ばん限りは御助けまゐらすべし努々心狹くて言甲斐なき事をなし給ひぞ妾神に誓ひ佛に明語して必らず扱ひ追らすべしとて十金を與へつ〻立別れ歸りけり然れどもお嘉稔は大家に生れて善き教へあるものなれば世にはか〻る似向非業して黄金を貪るもの〻ありとぞ聞けるに妾の此程物を憐れみ貧しきを賑すよし聞傳へて腹黒き男の欺きつるにはあらざるか然では心よからじと思ひけるゆゑ直ちに人とかけさして其處此處と索めさせしが富ヶ岡に程遠からぬ醫師にて藥乞ひぬる片兒ありと人の沙汰したればお嘉稔も太く喜びて苟且にも人を疑ひける事の耻かしさよ誠に思ひ寄らぬ慈悲を施して心もさえざえしうなりぬ今より欺のる〻とも容易く人は疑はじと心、に誓ひて是より猶は慈愛の道をぞ擴張めける

博愛之謂仁と韓文公の論じつるが如く鳥海のお嘉稔が愛惠を施すに其の慈悲大海の如くにして唯ゞ賑恤のみにあらず召使ふ奴婢には物柔かに勞はりて殊勝の擧動あるものには之れを勵まして物を與へ過失ありとても之れを責罵しるとなく側より心すべき由を告げさせて己れは知らざる者の如くなし居たりければ恩と思ひ德に懷きて孰れも此の主人の爲めならばとまでに思ひ込みぬ店に居るにも更に親疎なく惠みをかけ〻れば甲斐なき女主人にても誰れ一人として侮蔑ろにする者あらずして益々繁昌なしたりけるは偏へにお嘉稔が行ひの直にして仁に適ふ博愛の心に富める德なりとて人皆賞揚えけり伯母おふたが方にてはお嘉稔の聞え宜しきにつけ何卒良き婿がねのあらんには娶はして家の根ざしをも堅めんものをと思ひけるがおふたが嫁ぎし家の遠類にて然るべきもの〻息子ありけり名を淸吉と稱れて心淸く行ひ吉き若者なりければ是れをこそと思ひてお嘉稔に語り聞え他所ながら其の人をも逢せけるに伯母上のよしと見て定め給へるものあれば妾の何とて物好みをや仕つらん唯だ形に顯それぬは心の奧の底水の淸きと洞れるとの境にて侍る二年三年は御側にて試みて給はれか

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

しと言へるに憲に道理よ能くぞ心着きたるとて其の儘におふたが許へ召し置けり月日の經つは速かなるものにて早くも三年を送りお嘉禰も志す佛の爲めに法要を修し併せて貧民施行をもせばやとて五十石といふ白米を香華院の玄關に這を朝より施し初めしが哀れなる人の態々なるを見まほしとて伯母おふさともに式臺に立ちつゝうち眺めてありけるが忘れもやらぬ三年以前に深川にて十金を與へ救ひ遣りたる浪人の疱瘡病めりし幼兒と見ゆるを伴ひて今一升の米を貰ひ立去らんと去つゝ此方の施主を見て打驚きたりけりおふた目早くも之れを見て世には似たる人もあるものよと思ふうちに彼方は狼狽て逃んとするをなんおふた物をも言

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

で駈出し無理に彼の人を物蔭に誘ひてうち泣くお嘉稔も怪しと思ひければ急ぎ其の處へ立至りて偸み聞けば思ひきや是ぞ我が戀しとのみ忘れもやらぬ未見の父總兵衛が成れる果にてありけり夢かとも思ふべけれど寢やれせし忘れ難きちゝの實と聞ては今は前後の辨へもなく其の坪へ立入りて父と呼び子と呼ばるゝも唯だ涙に誠心の通ふのみなりけり

ト物語り來りし時時計は夜中を告ければお富美は更に語を早めて此の後の事とぞ斯くなん約め語りける

お嘉稔は仁恕の心深かりけるゆゑに再び逢がたき父と我が異母弟とを救ひ後遂に之れに再會せり總兵衛は何故に斯く零落せしか京都に上りてのち去る女に馴染めて故郷の事をも忘れ世の騒しかりし時は西の國よ赴きてありけるが後は大坂に來りて一子惣七とも擧けゝるが妻なりける人時疫よて死去しのちは太く零落して聊の活着を求めんと東路へ志ざす途賊の爲に幽けき盤纏を奪れ果は乞食となりて我が家も得入らざりしなり然どもお嘉稔が孝心慈愛に依り再び我が家へ歸る事を得て總七をも世に出しお嘉稔にも彼の清吉と娶はせて程なく初孫の顔をも見たりけるは誠に果報ある人の上にてろありけれ

「サアお寢なさいヨ明晩は又新しい面白いのと話すのらチ」

◎家政要報

○水を混じたる牛乳を見分ける法　一時の小利を釣らんがため牛乳に種々のものを混合するものあるが先づ多くは水を混合するものなり今さの方法に據て試驗するときはろの純粹の牛乳なるや否を容易に見分くるを得べし今よてに百段の彫線を付けたる硝子の管に牛乳を盛り二十四時間ゑづかに据え置くときは牛乳の濃き上汁はろの管の上の方へのぼり若しも純粹の良乳なれば第一の十一線より第十三線のわひだに留まるものなり

○鐵器と清水　水を鐵器に蓄へる時は鐵氣自然生して之を濁らするものなれど鐵器の底に蜩売を入れ置くときは鐵氣の生するを防て久しき間た濁ることとなし

○魚の腐敗を防ぐ法　魚を久しく保たんとするには先づ魚をよく清水にて洗ひその腮を取りさり木炭の小片をろの口に差し挾み又ろの魚を入れたる器にも木炭の二三片を入れ置くへし若し又遠方などに持ち運ぶときは紙にて包みこれを箱の如きものに入れ置ときは四五日のわひだは決して腐敗するの憂なし

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

◎御伽草

○數學問題(荅ハ皆な本月中)

(甲)羅針盤の一方位ハ三百六十度の三十二分一なり然るときハ一方位の度數何程なるや

(乙)六人にて七日間を費すべき工事を二人にて爲す時ハ幾日間を費すべきや

○考へものゝ題

左の歌ハ歷史中誰の事跡を詠せしや

からふみの道のおくさきはめけり弓矢にのみも猛き君かは

○前々號數學問題荅式

{87−(×8)}÷2=8. 荅八年の後(荅者)攝州伊丹牛谷美子、佐賀縣小城郡多久村多久まさ、信州諏訪郡豊田村遊座とも、東京築地壹丁目五番他林起宇、備前岡山高木鶴子、東京新富町壹丁目貳番地林二木、同築地貳丁目上野朝、長野縣信濃中村與太郎

○前々號考へものゝ荅

詩ハ巴御前、歌ハ大石良雄の遊蕩(荅者)佐賀縣小城郡多久村多久まさ、東京麴町區有樂町田中光、上州前橋北村君子、信州松本林龜吉、埼玉縣一寒生、備中早嶋安原仙

◎寄書

過る日我父正守が遺書を調べんとて此處彼處より古き本を集めて之を見しが中に獨語と題せる一册の寫本ありければ如何なる者ならんと繙きて是と見れバ春臺先生の著とあり一二枚之を讀むに最と面白ければ調べかけし書を傍に捨て知らず識らず之を讀盡せしが固より此書は既に梓に上りし者を謄寫せし者なるか將た未だ世に公にならざりし者なるやは知らざれども隨分今の世の人に讀ましめて益となるべき事すくなからずと思ひければ原本の儘を寫して貴舍に寄するになむ

○獨語　春臺先生著

目錄

和歌　茶道　俳諧　三味線　淨瑠璃　音曲　野郎役者　風俗

云ひたき事を云はぬは腹ふくるゝわざなりと昔の人の云ひたりしは誠なり然とて思ふ事云ふべき人にあはねば得云はず云はねば腹ふくるされば只空向て獨りごちて腹をすかすより外なし

和歌　世に和歌を好む人多けれども和歌の道を知れる人こそ

少なけれ卅一文字をつくぬる人は多けれ共萬葉集古今集に入るべき程の歌を讀出す人を未だ聞かず我父母共に和歌を好みし故八九才の頃より三十一文字を連ぬる術を知り十歳はかりより十二三歳まで腰折の歌凡そ三四百首も詠みたれども師もなく友もなければ歌讀たればとて人に見する事もなく書付て藏し置くのみなり其時の心に歌は讀得べき物とのみ思へり十四五歳の時始めて詩を學びて稍々七言絶句などを綴るすべを知り愚心密かに思惟せしは和歌を學びて如何程上手になりたりとも公家の人々を越る事なるまじければ何も公家の下に墊なん事口惜し詩は上手にさへなりなば公家をも弟子にすべし此道に於ては天下に畏る所あるまじいざ歌讀む事をやめて詩を作る事を習はゞやと思ひ定め書付たる和歌の反古を悉く焚捨て一首も殘し留ず夫れより詩を一向學び二十年を經て漸く詩の道を明めたり天性不才なる故に上手には得ならねども詩の道を明めたる事は誰にも負けまじとぞ思ふ此道を考ふれば和歌の道も明に見えわくるなり凡そ唐土と我國と風俗同しからずと雖ども詩と歌との道ばかり其理全く同じ其仔細は異國も我國も古も今も人情ハ異ならず詩も歌も心の聲にて性情を吟詠する者なれば唐と倭と詞の變るのみにて性情を吟詠する事は少も變る事なし詩と歌と趣き同じきは此故なり然るに異國も我國も人の詞の變りは時世に連れる故に詩も歌も時世に隨て風體變るなりされバ詩も歌も末世になりて昔に省るは風俗の替りにて風俗の變りは其詞の變りなり此理を能く覺悟して古に遡りて古の風俗を考へ古の詞を取り用ふれば今の人にても古の人に異ならぬ樣になるなり詩道此の如し此理を以て推量れば和歌の道も亦斯の如くなるべき我和歌を學ばねども詩の道を以て考ふるに今の世に居て古に劣らぬ歌を詠み出すべき事はさのみ難き事にあらず詩をみる眼にて歌を見れば歌の位も姿も見え分くなり萬葉集の歌は風雅より漢魏の古詩を兼て稍々盛唐の詩を孕るなり古今集の歌ハ正しく盛唐の詩なり後撰拾遺の二集ハ盛唐に初唐の詩を交へたるなり後拾遺より新古今までは中唐の詩を交へたる者なり新敕撰より下つ方は言に足らず和漢の時代を考ふるに我國元正聖武孝謙の御宇正く唐の玄宗開元天寳の時に當る其頃阿部仲麿吉備公の如き人々入唐して盛唐の禮樂文章を學び歸て我國に弘めし故に我國の歌も自然に唐詩の風に似たり仲麿か明州にて詠たりと云ふ青海原の歌は盛唐の詩の佳境李太白が峨眉山月の詩と同格なるべし定家卿「あまのはらと改められしは口惜し桓武平城嵯峨の時に及んでは唐の大暦以後中唐の世に當て唐詩は格調少し下りけれども我國の歌ハ尙盛なり白樂天が詩は唐詩の極惡道なるを白氏文集我國に行れて菅相亟甚だ之を好み給ひけるとかや夫より公家の人々皆樂天が詩を面白き事と思ひて其風調を和歌に移されし程に其後の歌は三代集の體を失へり

（以下次號）

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

LESSON XXI.

This is my little kitty.

How soft and white its fur is!

Is it not pretty? The cat is on the box.

She saw a big rat and ran to catch it.

The kitty was too small to catch the rat.

LESSON XXII.

Ho, ho! How we go!

Down the hill, Over the snow.

Ho, ho! Back we go, Up the hill, over the snow,

Down the hill and over the snow.

We, merry boys, how fast we go!

英語獨修

ニユー、ナシヨナル、リーダー直譯

〔第廿一節〕㊀是れハ㊁私の㊂小さなる㊃子猫で㊄有る●㊀如何に㊁柔く㊂而して㊃白く㊄其れの㊅毛皮が㊆有る(よ)●㊀其れが㊁美く㊂有ら㊃ぬ(か)●㊀猫が㊁箱の㊂上に㊃在る●㊀彼女が㊁大なる㊂鼠を㊃見し㊄而して㊅其れを㊆捕る㊇可く㊈走りし●㊀子猫が㊁鼠を㊂捕る可く㊄餘り㊅小さく㊆有りし

〔第二十二節〕㊀ホー㊁ホー●㊀如何に㊁我々が㊂行く(よ)●㊀雪を㊁超て㊂小山を㊃下る●㊀ホー㊁ホー●㊀雪を㊁超て㊂小山の㊃上に㊄我々が㊅還㊆る●㊀小山を㊁下り㊂而して㊃雪を㊄超て㊅樂しき㊆子供なる㊇我々が㊈如何に㊉速に⑪⑫我々が行く(よ)

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

遞信省認可

廣告

●歌文點删每月無料廣告

和歌擴張ノタメニ弘道會通常會員ハ歌文點删無料需ニ應ス

但シ草稿ヲ送ラントスル諸氏ハ弘道會加盟金トシテ金五拾錢ヲ添フベシ

大阪大手通三丁目四番地 弘道會 編輯員 山田淳女

國民の教育

每月一回發行 定價金拾五錢郵稅不受

第壹冊目次

森有禮君肖像

國民の敎育發刊ニ付テ……デニング君

祝詞……小中村清矩君

國民の敎育トハ何事ゾ……能勢榮君

日本語……菅了法君

通俗敎育ニ關スル所見……庵地保君

ソフイスト……曽了法君

敎育學……堤駒二君

內外雜報……十件

新著概評

發行所 東京馬喰町 與文社

國民の教育

成立學舍 女子部講義錄 每月一回

第壹號五月二十日發兌目次 皇后宮御歌幷思召書、發兌の主旨 文學士中原貞七 帝國大學敎授アツペル君の演說、經濟學 文學士土子金四郎 和文學 鈴木弘恭 家政 瓜生寅 動物學 醫科大學卒業生 山田謙治 心理學附コツクリ略說 文學士井上圓了、歐州ニ於ケル女子ノ敎育及交際 宇川盛三郎 理學ノ必要 理學士飯嶋晋 賢女傳 文學士坪內雄藏 其他近世社會ノ禮式 婚姻一斑 日本新調割烹法ノ午 針學海の滑濟(英國婦人ノ花顏、寄妙な婚姻法 佛國衣裳等

英語 英語沿革・綴字單語 會語 文法 花文字ノ用法 前置詞ノ用法 疑問文 言葉順序 英文、書狀心得等

右講義錄舍外生其他望ノ者ニ頒ッ 舍外生望ミノ者ハ袋町九番地女子部ニ申込ベシ

舍外生月謝三十錢 束脩五十錢

駿河臺袋町 成立學舍

社告

本誌代價前金相切れ候ときハ帶封を朱書に致して御送附申上候ニ付其節ハ早速御送金被下度候也

積文舍會計掛啓白

本誌代價表		
壹冊	正價金四錢	此郵稅壹錢
拾冊	同金三拾八錢	同 拾錢
二拾冊	同金七拾五錢	同 二拾錢
三拾冊	同金壹圓拾錢	同 三拾錢
四拾冊	同金壹圓四拾錢	同 四拾錢

但シ東京十五區內郵稅不申請

本舍は御注文有之と雖とも前金御送附無之間ハ雜誌配達不仕事に相定候に付御注文の節ハ必ず代價郵稅共郵便爲替又ハ通運便にて御送附あらんことを希ふ●郵劵代用ハ壹錢切手にて一割增し●郵便爲替ハ芝區芝口郵便局へ御振込み其爲替劵と本舍へ御送附可被下候 但し東京十五區內ハ御斷り無之間ハ引續き配達仕候

發行所 東京々橋區南鍋町弐丁目拾壹番地 積文舍

持主兼印刷人 松本義弘

編輯人 初鹿野錦五郎

大賣捌所 東京芝區愛宕町一丁目三番地 修正堂

同 神田區淡路町 同 櫟々堂

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY